

新学習指導要領と現行学習指導要領における情報化対応（情報活用能力の育成）についての比較

(1) 小学校学習指導要領における情報活用能力の育成に関する部分（比較）
ア 情報の判断、選択、整理、処理能力及び新たな情報の創造、伝達能力

新学習指導要領	現行学習指導要領
<p>第1節 国語</p> <p>第2 各学年の目標及び内容</p> <p>〔第3学年及び第4学年〕</p> <p>2 内容</p> <p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>(1) 話すこと・聞くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア 伝えたい事を選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話すこと。</p> <p>イ 話の中心に気を付けて聞き、自分の感想をまとめること。</p> <p>ウ 互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合うこと。</p> <p>B 書くこと</p> <p>(1) 書くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア 相手や目的に応じて、適切に書くこと。</p> <p>イ 書く必要のある事柄を収集したり選択したりすること。</p> <p>C 読むこと</p> <p>(1) 読むことの能力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>エ 読み取った内容について自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。</p> <p>オ 目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。</p> <p>3 内容の取扱い</p> <p>(1) 内容の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」に示す事項の指導は、例えば次のような言語活動を通して指導するものとする。</p> <p>「A話すこと・聞くこと」 身近な話題についてスピーチをすること、要点などをメモに取りながら聞くこと、身近な出来事や調べた事柄について説明したり報告したりすることなど</p> <p>「B書くこと」 手紙を書くこと、自分の疑問に思った事などについて調べてまとめること、経験した事を記録文や学級新聞などに表すことなど</p> <p>「C読むこと」 読んだ内容などに関連した他の文章を読むこと、疑問に思った事などについて関係のある図書資料を探して読むことなど</p> <p>〔第5学年及び第6学年〕</p> <p>2 内容</p> <p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>(1) 話すこと・聞くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア 考えた事や自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。</p> <p>イ 話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと。</p> <p>ウ 自分の立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。</p> <p>B 書くこと</p> <p>(1) 書くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア 目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くこと。</p> <p>イ 全体を見通して、書く必要のある事柄を整理すること。</p> <p>ウ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組立ての効果を考えること。</p> <p>エ 事象と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。</p> <p>オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。</p> <p>C 読むこと</p> <p>(1) 読むことの能力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア 自分の考えを広げたり深めたりするために、必要な図書資料を選んで読むこと。</p> <p>イ 目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。</p> <p>ウ 登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むこと。</p> <p>エ 書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。</p> <p>オ 必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること。</p> <p>3 内容の取扱い</p> <p>(1) 内容の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」に示す事項の指導は、例えば次のような言語活動を通して指導するものとする。</p> <p>「A話すこと・聞くこと」 自分の考えを資料を提示しながらスピーチをすること、目的意識をもって友達の考えを聞くこと、調べた事やまとめた事を話し合うことなど</p> <p>「B書くこと」 礼状や依頼状などの手紙を書くこと、自分の課題について調べてまとめた文章に表すこと、経験した事をまとめた記録や報告にすることなど</p> <p>「C読むこと」 読書発表会を行うこと、自分の課題を解決するために図鑑や事典などを活用して必要な情報を読むことなど</p>	<p>第1節 国語</p> <p>第2 各学年の目標及び内容</p> <p>〔第3学年〕</p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 国語による表現力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア 相手の話の内容を受けて話題に合わせて話すこと。</p> <p>イ 話の要点が分かるように、区切りを考えて話すこと。</p> <p>ウ 文章に書く必要のある事柄を選び整理してから書くこと。</p> <p>エ 事柄ごとの区切りや中心を考えてから文章を書くこと。</p> <p>B 理解</p> <p>(1) 国語による理解力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>キ 聞いたり読んだりした内容について、感想をまとめたり自分ならどうするかなどについて考えたりすること。</p> <p>ク 自分の立場から大事だと思うことを落とさないで文章を読むこと。</p> <p>〔第4学年〕</p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 国語による表現力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア 相手や場に応じて内容の軽重を考えて話すこと。</p> <p>イ 話の中心点が分かるように、筋道を立てて話すこと。</p> <p>ウ 自分の考えをはっきりさせたりまとめたりしてから表現すること。</p> <p>エ 書く必要のある事柄の順序や軽重を考え、整理してから書くようにすること。</p> <p>B 理解</p> <p>(1) 国語による理解力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>ク 読む目的に応じて大事な事柄をまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。</p> <p>〔第5学年〕</p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 国語による表現力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア 相手や場に応じて適切な言葉遣いを使い、それらの状況を考えて話すこと。</p> <p>イ 意図をはっきりさせて根拠を明らかにしながら話すこと。</p> <p>ウ 聞き手にも内容が分かるように朗読すること。</p> <p>エ 自分の考えを明確にし、表現することによって更に考えを確かめること。</p> <p>オ 主題や要旨を考えて事柄を選び、観点ごとに整理してから書くようにすること。</p> <p>カ 主題や要旨が明確に表れるように、構成を考えて文章を書くこと。</p> <p>B 理解</p> <p>(1) 国語による理解力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>オ 人物の気持ちや場面の情景の叙述や描写を味わいながら読むこと。</p> <p>カ 話し手や書き手のものの見方、考え方、感じ方などについて理解すること。</p> <p>キ 必要な事柄を調べるため、また、必要な情報を得るため、文章を読むこと。</p> <p>ク 聞いたり読んだりした内容について、自分の立場から再構成して表現するようにすること。</p> <p>〔第6学年〕</p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 国語による表現力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>ア 目的に応じて時間や話題の順序などを考え、計画的に話すこと。</p> <p>イ 目的や意図に応じて適切に話すこと。</p> <p>ウ 聞き手にも内容がよく味わえるように朗読すること。</p> <p>エ 主題や意図をはっきりさせ、表現することによって更に自分の考えを深めること。</p> <p>オ 目的に応じて必要な事柄を集め、全体を見通し整理してから書くようにすること。</p> <p>B 理解</p> <p>(1) 国語による理解力を育てるため、次の事項について指導する。</p> <p>オ 事象を客観的に述べているところと、書き手の感想、意見を述べているところとの関係を押さえながら読むこと。</p> <p>カ 優れた描写や叙述を味わいながら読むこと。</p> <p>キ 話し手や書き手のものの見方、考え方、感じ方などについて、自分の考えをはっきりさせながら理解すること。</p> <p>ク 目的に応じて、適切な本を読んだり、効果的な読み方を工夫したりすること。</p> <p>第3 指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱い</p> <p>(6) 読むことの指導については、読書意欲を高め、日常生活において読書活動を活発に行うことを促すようにするとともに、他の教科における読書の指導や学校図書館における指導との関連を考えて行うこと。なお、児童の読む図書については、人間形成のため幅広く偏りがないように配慮して選定すること。</p>

新学習指導要領	現行学習指導要領
<p>(6) 第2の各学年の内容の「C読むこと」に関する指導については、読書意欲を高め、日常生活において読書活動を活発に行うようにするとともに、他の教科における読書の指導や学校図書館における指導との関連を考えて行うこと。なお、児童の読む図書については、人間形成のため幅広く、偏りがないように配慮して選定すること。</p>	
<p>第2節 社会 第2 各学年の目標及び内容 〔第3学年及び第4学年〕</p> <p>1 目標 (3) 地域における社会的事象を観察、調査し、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力を育てるようにする。</p> <p>〔第5学年〕</p> <p>1 目標 (3) 社会的事象を具体的に調査し、地図、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味について考える力を育てるようにする。</p> <p>〔第6学年〕</p> <p>1 目標 (3) 社会的事象を具体的に調査し、地図や年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味をより広い視野から考える力を育てるようにする。</p>	<p>第2節 社会 第2 各学年の目標及び内容 〔第3学年〕</p> <p>1 目標 (3) 地域における社会的事象を具体的に観察し、地図その他の具体的資料を効果的に活用することができるようにするとともに、地域社会の社会的事象の特色を考えるようにする。</p> <p>〔第4学年〕</p> <p>1 目標 (3) 地域における社会的事象を具体的に観察し、地図や各種の資料を効果的に活用できるようにするとともに、社会的事象の特色や相互の関連などについて考えるようにする。</p> <p>〔第5学年〕</p> <p>1 目標 (3) 地図、年表、統計などの基礎的資料を効果的に活用することができるようにするとともに、社会的事象の意味について考えるようにする。</p> <p>〔第6学年〕</p> <p>1 目標 (3) 地図、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用することができるようにするとともに、社会的事象の意味をより広い視野から考えるようにする。</p>
<p>第3節 算数 第2 各学年の目標及び内容 〔第3学年〕</p> <p>1 目標 (4) 資料を整理して表やグラフに表したり用いたりすることができるようにし、それらの有用さが分かるようにする。</p> <p>〔第4学年〕</p> <p>1 目標 (4) 数量やその関係を式やグラフを用いて表したり考察したりすることができるようにするとともに、目的に応じて依存関係を調べたり分類整理したりすることができるようにする。</p> <p>〔第5学年〕</p> <p>1 目標 (4) 百分率や円グラフを用いるなど、統計的に考察することができるようにするとともに、数量の関係を式で表したり、式をよんだり、その関係を調べたりすることができるようにする。</p> <p>〔第6学年〕</p> <p>1 目標 (4) 比や比例の意味について理解し、数量の関係の考察に関数の考えを用いることができるようにする。</p>	<p>第3節 算数 第2 各学年の目標及び内容 〔第3学年〕</p> <p>1 目標 (4) 資料を整理したり、式やグラフを用いたりすることができるようにし、それらの有用さが分かり、数量やその関係を表したり調べたりすることができるようにする。</p> <p>〔第4学年〕</p> <p>1 目標 (4) 数量やその関係を式やグラフを用いて表したり考察したりすることができるようにするとともに、目的に応じて依存関係を調べたり分類整理したりすることができるようにする。</p> <p>〔第5学年〕</p> <p>1 目標 (4) 文字などを用いて式を簡潔に表したり、式の表す数量の関係を調べたりすることができるようにする。また、百分率や円グラフを用いるなど統計的な資料について考察することができるようにする。</p> <p>〔第6学年〕</p> <p>1 目標 (4) 比例などの理解を通して関数の考えを深め、数量の関係を考察することに有効に用いることができるようにする。また、資料の分布を調べるなど、統計的に考察したり表現したりすることができるようにする。</p>
<p>第4節 理科 第2 各学年の目標及び内容 〔第5学年〕</p> <p>2 内容 A 生物とその環境 (1) 植物を育て、植物の発芽、成長及び結実の様子を調べ、植物の発芽、成長及び結実とその条件についての考えをもつようにする。</p> <p>C 地球と宇宙 (1) 1日の天気の様子を観測したり、映像などの情報を活用したりして、天気の変化り方を調べ、天気の変化の仕方についての考えをもつようにする。 ア 天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあること。 イ 天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できること。</p> <p>第3 指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱い</p> <p>1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。 (2) 指導に当たっては、博物館や科学学習センターなどを積極的に活用するよう配慮すること。 2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。 (1) 観察、実験、栽培、飼育及びものづくりの指導については、指導内容に応じてコンピュータ、視聴覚機器など適切な機器を選ぶとともに、その扱いに慣れ、それらを活用できるようにすること。また、事故の防止に十分留意すること。</p>	<p>第4節 理科 第2 各学年の目標及び内容 〔第5学年〕</p> <p>2 内容 A 生物とその環境 (3) 人と他の動物を比較したり資料を活用したりして、人の発生や成長などを調べることができるようにする。</p> <p>C 地球と宇宙 (1) 気温、雲、風などを観測したり、映像などの情報を活用したりして、天気の変化を調べることができるようにする。 ア 1日の気温の変化は、太陽高度や雲、風、降水などと関係があること。 イ 天気の変化は、観測の結果や映像などの情報を活用して予想できること。</p> <p>第3 指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱い</p> <p>1 指導計画の作成に当たっては、内容相互の関連を図り指導の効果を高めるよう配慮する必要がある。 2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮する必要がある。 (1) 観察、実験、栽培、飼育及び製作の指導については、指導内容に応じて適切な機器などを選ぶとともに、その扱いに慣れ、それらを活用できるようにすること。また、事故の防止に十分留意すること。</p>
<p>第7節 図画工作 第2 各学年の目標及び内容 〔第3学年及び第4学年〕</p> <p>1 目標 (1) 豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めることに興味をもつとともに、進んで表現する態度を育てるようにする。 (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、つくりだす能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにする。 (3) 自分たちの作品や身近にある作品、材料のよさや美しさなどに関心をもって見るとともに、それらに対する感覚などを高めるようにする。</p>	<p>第7節 図画工作 第2 各学年の目標及び内容 〔第3学年及び第4学年〕</p> <p>1 目標 (1) 材料から豊かな発想をしそれを生かす体験を深め、材料に対する感覚などを高めるとともに、見方や表し方に興味をもって工夫して表し、進んで造形活動ができるようにする。 (2) 生活を楽しくするものなどを用意や美しさ、つくり方などを考えてつくり、それを使う楽しさを味わい、デザインの能力や創造的な工作の能力を伸ばす。 (3) 友人の作品や身近な造形品のよさや美しさなどに関心をもって見ることができるようになる。</p>

新学習指導要領	現行学習指導要領
<p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 材料や場所をもとにして、楽しい造形活動をするようにする。 ア 材料や場所、ものをつくった経験から発想したり、みんなで話し合っ て考えたりして楽しく表すこと。 イ 木切れなどの材料や場所の特徴をもとに、組み合わせる、切ってつ なく、形を変えてつくるなど工夫し、新しい形をつくることととも、そ の形から発想してつくりだす造形遊びをすること。</p> <p>(2) 見たこと、感じたこと、想像したことを絵や立体に表したり、つくり たいものをつくりだすようにする。 ア 表したいことを表すために、形や色、材料などを生かし、それらの 組合せの感じに関心をもち、美しさや用途などを考え、計画を立てる など工夫して表すこと。</p> <p>〔第5学年及び第6学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだす喜びを味わい、様々 な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てるようにする。</p> <p>(2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて主題の表し方を構想すると ともに、美しさなどを考え、創造表現の能力、デザインや創造的な工作の 能力を高めるようにする。</p> <p>(3) 作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさを感じ取り、感性を高 めるとともに、それらを大切にするようにする。</p> <p>2 内容</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 材料や場所などの特徴をもとに工夫して、楽しい造形活動をするよ うにする。 ア 材料や場所などの特徴をもとに発想し、よさや美しさなどを考え、 想像力や創造的な技能などを総合的に働かせて楽しく表現すること。 イ 材料や場所などに進んでかかわり合い、それらをもとに構成したり、 つくるものと周囲の様子を考え合わせて表したりしながら造形遊びを すること。</p> <p>(2) 見たこと、感じたこと、想像したこと、伝えたいことを絵や立体 に表現したり、工作に表したりするようにする。 ア 表したいことを表すために、形や色、材料の特徴や構成の美しさな どの感じ、つくるものの用途などを考えるとともに、表し方を構想し 計画して、創造的な技能などを生かして表現すること。</p>	<p>2 内容</p> <p>〔第3学年〕</p> <p>A 表現</p> <p>(3) 生活を楽しくするもの、飾るもの、伝え合うものをつくることのでき るようにする。</p> <p>〔第4学年〕</p> <p>A 表現</p> <p>(3) 生活を楽しくするもの、飾るもの、伝え合うものをつくることのでき るようにする。</p> <p>〔第5学年及び第6学年〕</p> <p>1 目標</p> <p>(1) 造形的な見方や感じ方を深め、想像力を働かせて主題の表し方の構想を 練り、技法などを工夫して表し、造形的な創造表現の能力を高める。</p> <p>(2) 生活を楽しく豊かにするものなどを、用途や美しさを考え構想を練って つくり、デザインの能力や創造的な工作の能力を高める。</p> <p>(3) 造形作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさを感じ取り感性を 高めるとともに、それらを大切にすることができるようにする。</p> <p>2 内容</p> <p>〔第5学年〕</p> <p>A 表現</p> <p>(3) 生活を楽しく豊かにするものをつくり、身近な環境などを造形的 に構成したり、伝え合うものをつくりだすことができるようにする。</p> <p>〔第6学年〕</p> <p>A 表現</p> <p>(3) 生活を楽しく豊かにするものをつくり、身近な環境などを造形的 に構成したり、伝え合うものをつくりだすことができるようにする。</p>
<p>第4章 特別活動</p> <p>第1 目標</p> <p>望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る とともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こう とする自主的、実践的な態度を育てる。</p> <p>第2 内容</p> <p>A 学級活動</p> <p>学級活動においては、学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向 上を図り、健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと。</p> <p>(1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること。 学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕 事の分担処理など</p> <p>(2) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること 希望や目標をもって生きる態度の形成、基本的な生活習慣の形成、望 ましい人間関係の育成、学校図書館の利用、心身ともに健康で安全な生 活態度の形成、学校給食と望ましい食習慣の形成など</p>	<p>第4章 特別活動</p> <p>第1 目標</p> <p>望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図ると ともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうと する自主的、実践的な態度を育てる。</p> <p>第2 内容</p> <p>A 学級活動</p> <p>学級活動においては、学級を単位として、学級生活の充実と向上を図り、 健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと。</p> <p>(1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること。 学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の仕事の分担処理な ど</p> <p>(2) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること。 不安や悩みの解消、基本的な生活習慣の形成、望ましい人間関係の育成、 意欲的な学習態度の形成、学校図書館の利用や情報の適切な活用、健康で 安全な生活態度の形成、学校給食など</p>
<p>第1章 総則</p> <p>第3 総合的な学習の時間の取扱い</p> <p>2 総合的な学習の時間においては、次のようなねらいをもって指導を行う ものとする。</p> <p>(1) 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく 問題を解決する資質や能力を育てること。</p> <p>(2) 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、 創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるよ うにすること。</p> <p>5 総合的な学習の時間の学習活動を行うに当たっては、次の事項に配慮す るものとする。</p> <p>(1) 自然体験やボランティア活動などの社会体験、観察・実験、見学や調 査、発表や討論、ものづくりや生産活動など体験的な学習、問題解決 的な学習を積極的に取り入れること。</p> <p>(2) グループ学習や異年齢集団による学習などの多様な学習形態、地域の 人々の協力が得つつ全教師が一体となって指導に当たるなどの指導体 制、地域の教材や学習環境の積極的な活用などについて工夫すること。</p>	

イ 情報化社会の特質、情報化の社会や人間に対する影響の理解
 情報の重要性の認識、情報に対する責任感

新学習指導要領	現行学習指導要領
<p>第2節 社会</p> <p>第2 各学年の目標及び内容</p> <p>〔第5学年〕</p> <p>2 内容</p> <p>(3) 我が国の通信などの産業について、次のことを見学したり資料を活用 したりして調べ、これらの産業は国民の生活に大きな影響を及ぼしてい ることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする。 ア 放送、新聞、電信電話などの産業と国民生活とのかわり イ これらの産業に従事している人々の工夫や努力</p>	<p>第2節 社会</p> <p>第2 各学年の目標及び内容</p> <p>〔第5学年〕</p> <p>2 内容</p> <p>(3) 我が国の運輸、通信などの産業の現状に触れ、それに従事している人々 の工夫や努力について理解できるようにするとともに、国民生活を支える これらの産業の意味について考えることができるようにする。 ア 我が国の陸上、海上、航空などの運輸業や主な貿易相手国と輸出入の 品目などについて、地図や地球儀、資料などで調べて、我が国の運輸業 の働きや貿易の特色について理解するとともに、これらの産業に従事し ている人々の工夫や努力に気付くこと。</p>

新学習指導要領	現行学習指導要領
<p>3 内容の取り扱い</p> <p>(4) 内容の(3)のイについては、放送、新聞、電信電話などの中から一つを取り上げるものとする。</p>	<p>イ 我が国の放送、新聞、電信電話などの産業について、見学したり資料で調べたりして、これらの産業は国民の日常生活と深いかわりがあることや国民の生活に大きな影響を及ぼしていることを理解するとともに、これらの産業に従事している人々が工夫や努力をしていることやこれからの生活において情報の有効な活用が大切であることに気付くこと。</p>
<p>第3章 道徳 第2 内容 〔第5学年及び第6学年〕</p> <p>4 主として集団や社会とのかかわりに関すること。</p> <p>(1) 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して<u>主体的に責任を果たす</u>。</p> <p>(2) 公德心をもって法やきまりを守り、<u>自他の権利を大切に</u>し進んで義務を果たす。</p>	<p>第3章 道徳 第2 内容 〔第5学年及び第6学年〕</p> <p>4 主として集団や社会とのかかわりに関すること。</p> <p>(2) 公德心をもって法やきまりを守り、<u>自他の権利を大切に</u>し進んで義務を果たすようにする。</p>
<p>第4章 特別活動 第2 内容 A 学級活動</p> <p>(2) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること。 希望や目標をもって生きる態度の形成、基本的な生活習慣の形成、望ましい人間関係の育成、学校図書館の利用、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、学校給食と望ましい食習慣の形成など</p>	<p>第4章 特別活動 第2 内容 A 学級活動</p> <p>(2) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること。 不安や悩みの解消、基本的な生活習慣の形成、望ましい人間関係の育成、意欲的な学習態度の形成、学校図書館の利用や情報の適切な活用、健康で安全な生活態度の形成、学校給食など</p>
<p>第1章 総則</p> <p>第3 総合的な学習の時間の取扱い</p> <p>3 各学校においては、2に示すねらいを踏まえ、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題、児童の興味・関心に基づく課題、地域や学校の特色に応じた課題などについて、学校の実態に応じた学習活動を行うものとする。</p>	